

お茶新聞



発行元
龜山市辺法寺町
811
市川大楽園製茶
お茶新聞編集部
電話 0595-85-0321
FAX 0595-85-3005
<http://www.shopmie.com/dairakuen>

茶畑便り

二番茶も終わりました、前半は梅雨にうつと暑い季節、後半は梅雨もあけ、ものすごく暑い季節です。今でこそ、乗用機械も使われるようになりましたが、この季節のお茶刈りや、刈ったお茶の袋運びは大変です。倒れるんじゃないかというくらい大汗をかきます。二番茶を刈り終わるとすぐに、深く刈り落とし、二番茶を刈ったあと茶園が茶色くなっているところは、すでに、二番茶後の整枝のすんだところです。

最近二番茶後、雨の少ない年が多く、ほんとに雨乞いでもしたいようになります。あんまり雨が降らないと、「焼ける」といって、茶園の表面の葉が枯れて茶色く変色してしまいます。そんなときは、茶園に水をやったりするときもあります。

二番茶が終わった後に、茶園に置く肥料のことを、お礼肥(おれいこえ)といいます。

お茶の最盛期が過ぎ茶園に対するまさにお礼の意味があります。

お茶で節約

テレビにもカリスマ節約主婦の番組があります。そこで、私も節約法をひとつご紹介いたします。昔ながらにお茶葉でお茶を出し水筒に入れ外出のときもついでと、自販機の缶ドリンクのお茶を飲むよりずっと節約になります。仕事先などで、一日2〜3本は缶ドリンクを飲むという人なら、なおさら効果的です。夏は、かなりがぶのみするので、大きめの水筒を用意するといいでしょ。お茶は、やかんで沸かしたお湯に、好みのお茶を入れて軽く煮出した後冷やします。きれいな緑色を保ちたい方は、湯冷ましてティーバッグを水出しすることもできます。数時間程度おくと良いでしょう。面倒ですが、家族みんなの分たつぷり作れば、かなりの節約になると思います。しかもおいしく、健康にいいです。普段甘味のはいった飲料を飲んでいる人が、水筒を持ち歩いてお茶ばかり飲むようにしたら、必ずやせると思いますが、是非お試し下さい。

あつーい夏おいしい冷茶をつくってみましょう。

緑茶ドリンク新時代

六月二十二日放送の「ガイアの夜明け」茶葉にかけた男たち」を見ました。普通の緑茶造りと同じように、茶が吟味されて、つくられているのが、良くわかりました。緑茶のペットボトルがすく飲まれるようになったようです。特にこれからの季節冷たいお茶を手軽に飲めるので非常に便利です。「マーシャルも、有名タレントが、出演し、緑茶のイメージをアップさせています。

緑茶ドリンクが売れることによつて、今まで緑茶の持っていた古めかしさに、新しく、かつこいいイメージが加わると思います。ボトルもユニークで捨てるのがもったいないくらいです。

